

○水生生物モニタリング調査結果一覧（いわき市沖M）

＜いわき市沖M 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点						
M-2	○	○	○	○	○	○

＜いわき市沖M 現場測定項目＞

[illegible]

＜いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R6.9.10	09:00	8.1	0.8	1.6	7.1	4990	33.72	1.1	2	0.5	N.D. (0.0015)	0.0017	—
M-2 (下層)				08:25	8.0	0.6	1.4	7.6	5000	34.06	1.0	2	0.7	N.D. (0.0015)	0.0022	0.00087

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点																					
M-2	37.1996°	141.0853°	R6.9.10	09:15	7.8	362	24.9	2.2	1.3	2.810	1.3	0.7	2.0	87.9	4.0	4.1	0.15	9.5	0.43	26	N.D. (0.11)

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜いわき市沖M 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-1 M-2 M-3	久之浜沖	37.1736° 37.1996° 37.2324°	141.0788° 141.0853° 141.0935°	R6. 9. 10	軟体動物	頭足	十腕形	アカイ	<i>Japanese flying squid</i>	スルメイカ	5	0.36	未成体	—	—	N. D.	N. D. (0.29)	N. D. (0.23)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	ホリボウ	<i>Lepidotrigla microptera</i>	カナガシラ	4	0.93	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	0.83	N. D. (0.24)	0.83	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	ホリボウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ	4	1.3	成魚	魚類	内臓除去	0.57	N. D. (0.25)	0.57	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronichthys japonicus</i>	ナガレメイタガレイ	4	0.43	未成魚	空胃	内臓除去	0.43	N. D. (0.26)	0.43	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイ	<i>Eyvnnis japonica</i>	チダイ	4	1.4	未成魚	空胃	内臓除去	0.46	N. D. (0.23)	0.46	—
					脊椎動物	硬骨魚	フナ	フナ	<i>Takifugu snyderi</i>	シヨウサイフグ	4	0.73	未成魚	鰭、貝類	内臓除去	0.84	N. D. (0.33)	0.84	—
					脊椎動物	硬骨魚	マツダイ	マツダイ	<i>Zeus faber</i>	マツウダイ	2	0.76	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	0.31	N. D. (0.25)	0.31	—
					脊椎動物	軟骨魚	カスザメ	カスザメ	<i>Squatina japonica</i>	カスザメ	2	9.8	未成魚/成魚	魚類	内臓除去	1.7	N. D. (0.28)	1.7	N. D. (0.020)
					脊椎動物	軟骨魚	ヒシロザメ	ヒシロザメ	<i>Mustelus manazo</i>	ホシザメ	1	0.82	未成魚	カニ類	内臓除去	0.39	N. D. (0.22)	0.39	—
M-4	久之浜沿岸	—	—	R6. 9. 10	藻類・植物	褐藻	コンブ	コンブ	<i>Eisenia bicyclis</i>	アラメ	—	0.30	—	—	—	0.28	N. D. (0.28)	0.28	—
					軟体動物	腹足	ミヅイ	古腹足	<i>Haliotis</i> sp.	アワビ類	4	0.41	成体	—	軟体部	N. D.	N. D. (0.27)	N. D. (0.24)	—
					棘皮動物	ウニ	ホウニ	オホファンウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ	7	0.87	成体	—	—	0.23	N. D. (0.21)	0.23	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40 μ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7 : N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。